



スポレクフェスタ2012

10/8



▲ティーボール体験



▲弓道体験（市民カメラマン竹内美江さん撮影）

午後のメイン会場で行われた玉入れとクイズ大会



旭小学校運動会

9/29

夏が過ぎて芝生のできあがった校庭に、川淵三郎氏も来校して、サイン入りサッカーボールの贈呈式が行われました。



共和保育所運動会

10/6

来年度から民営化されるため、公立保育所として最後の運動会を楽しみました。



秋の便り

「久々宇のコスモス」

市民カメラマン 町田時男さん撮影



表紙解説

フランスにあるパリ日本文化会館では、10月3日から12月15日までの間、「笑いの日本美術史 縄文から19世紀まで」展が開催されています。この展覧会は、日本文化会館設立15周年及び日本国際交流基金の設立40周年に際して開催されたものです。

西洋では、伝統的な日本芸術が禅や浮世絵などと結び付けられ、「ユーモア」とは縁がないものと考えられてしまいがちです。しかし、この展覧会では、「笑い」に関する絵巻物、大衆画、彫刻など100点余りの作品が展示され、日本には独特の笑いの文化が存在していたことを示しています。

展示物の中でも「笑う盾持人物植輪」は、会場の入口付近にあり、主となる展示物の1つとして取り扱われています。110cmの高さを超える植輪3体が、屈託のない笑いを浮かべながら来場者を待ち受ける姿で、多くの人を引き付けています。

（撮影日：09/10～10/04）